



# あいむら先生の ニカラグアレポート

青年海外協力隊で中米のニカラグアに行っています。



第二十八号

2010年 2月 4日発行



## ニカラグアへの 日本のえんじょ

日本をはじめ、世界の国がハイチへのえんじょをしています。それとはちがいますが、日本は国のお金を使って、世界の発展中の国々をえんじょしています。ニカラグアの人々の暮らしが少しでもよくなるように、ニカラグアにも日本のえんじょがたくさんはっています。それを紹介します。



身体にきけん、わかい女の子のにんしんをふせぐために、かんごしが働いています。



ハイチの地震のニュース見ましたよね??  
ハイチはニカラグアに近いカリブ海にうかぶ、中米で一番まずしい国です。ニカラグアでも1972年に首都をおそった大地震がありました。それいぜんは大きな建物も多く、中米でも栄えていたほうだったようです。それが、地震による被害から立ち直ることがうまくできずに、今ではまわりよりまずしい国になってしまっています。ハイチの地震も人ごとのようには思えません。日本でもたくさんの地震がおこっているので、その悲しみはみなさんにも少しは理解できるものだと思います。地震によって家族がなくなってしまった子どもを、ニカラグアにあるキリスト教の教会で引き取るという話も聞きます。いっこくも早くハイチの人たちが安心して暮らせる日がくることをいのっています。



車が通ることができる、  
かんじょうな橋  
橋は人をつなぐ道



教室がわかれていて、  
天じょうがある学校

学校は子どもが学ぶ場所



しょうがいを持っている子どもを  
はこぶための車  
車はひつじゅひん



あんぜんな水を手に入れるために水道のせつびをととのえています。川や雨水を使って生活している人がたくさんいます。